

## 製造業、非製造業とも収益状況が悪化、売上も伸び悩む

6月の情報連絡員報告によると、収益状況DI値は製造業、非製造業とも前月と比べ大きく悪化した。原材料価格や電気料金が値上げされ、コストが増大しているにもかかわらず、価格転嫁ができないことや、価格競争による販売価格の低下が、収益状況を悪化させる要因となっている。又、夏以降さらなる景況の悪化を危惧する声が多くよせられており、先行きの不透明感が増している。

【製造業62人、非製造業、88人、計150人の集計】

### 前年同月比のDI値

項目	全産業	製造業	非製造業
	前年同月比	前年同月比	前年同月比
売上高	 -12.0	 -9.7	 -13.6
在庫数量	 -6.4	 -3.2	 -15.7
販売価格	 -18.7	 -14.5	 -21.5
取引条件	 -14.7	 -17.7	 -12.5
収益状況	 -40.0	 -37.1	 -42.0
資金繰り	 -27.3	 -27.4	 -27.3
設備操業度	 -11.3	 -11.3	—
雇用人員	 -10.7	 -8.0	 -12.5
業界の景況	 -39.3	 -29.0	 -46.6

※DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標です。(−100≤DI値≤100)

DIの計算方法…増加・好転と答えた企業の割合−減少・悪化と答えた企業の割合

【例:調査数「20」のうち好転が「4」、不変が「6」、悪化が「10」とした場合…(4−10)/20×100=−30】



30以上



10以上  
30未満



−10以上  
10未満



−30以上  
−10未満



−50以上  
−30未満



−51以下

平成24年  
6月

# 業 界 の 声

製 造 業		
集計上の 分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食 料 品	中華麺製造業	でん粉、増粘剤（グアーガム）など、農産物由来の添加物の価格が上昇し続けているが、製品価格に転嫁することが出来ず、収益状況を悪化させている。
	製粉業	麦の売り渡し制度の見直し論議が進展しないが、業界は静観の姿勢をとっている。
繊維・同製品	帽子製造業	「自分で洗える」をセールスポイントにした商品や、紫外線をカットできる帽子などの機能性商品が堅調である。一方で麦わら帽などは停滞している。
	帆布製品製造業	6月は本来売上が期待出来るシーズンであるが、予想に反して売上は伸びなかった。ただし6月下旬より見積りへの依頼が増加しており、7月の売上増加を期待している。
	洋服製造業	前年と比べ受注量は大幅に減少している。組合員の工場は休業状態にあり、倒産の可能性もある。
	ニット製品製造業	相変わらず消費者は、海外製品を中心とするファストファッションに流れており、国内製品の売上は伸び悩んでいる。
木材・木製品	建具製造業	新規住宅着工件数が上向いていたものの、6月に入り低迷状況に陥っている。材料価格も上昇傾向にあり、先行きが危惧される。
	木材製造業	受注量は減少しており、景況は悪化している。
紙・紙加工品	紙製品製造業	中小事業者である組合員の景況は、依然として厳しい状況が続いている。
印 刷	印刷加工業	印刷業界で発生した、化学薬品による健康被害の問題は、様々な規制や経費負担が課せられる恐れがあり、小規模事業者にとっては無視できない状況となっている。
	印刷業	大阪の印刷会社における胆管がんの発症と労災請求の問題は、東京などにも波及しつつある。組合は労働安全衛生の徹底を組合員に呼びかけている。
化学ゴム	ゴム製品製造業	売上に若干の動きが出て来ているが、7月から9月分の受注が途絶えている。
	石油製品製造業	4月に値上がりした基油（潤滑油等の原料油）の価格が、7月にも値上げされることとなった。製品価格の値上げは8月になるため、7月中の収益は悪化することが予想される。
	タイヤ製造業	タイヤの売れ筋商品が、高額品と廉価品に2極化している。
	プラスチック製品製造業	6月に入り受注量は増加傾向にあるが、小口の案件が多い。また、受注が特定の企業に集中する傾向が見られる。
窯業・土石製品	砕石製造業	東京電力の電気料金の値上げはコストの増加要因となっている。一部の組合員に自家発電に切り替える動きもあるが、燃料費も高騰しており、厳しい状況が続いている。砕石の販売価格の上昇を願うばかりである。
鉄鋼・金属	金属熱処理業	エコカー補助金の恩恵を受けている自動車関連の受注は好調であるが、補助金終了後の落ち込みを懸念している。また、東京電力の電気料金値上げの影響も顕著となりつつある。
	ダイカスト製品製造業	自動車関連の需要は大きく増大したものの、今後増産の反動による受注量の減少が懸念される。
	缶製造業	百貨店等において中元などの贈答品市場が縮小傾向にあり、缶詰の売上が伸び悩んでいることから、缶の需要が低迷している。
	鋳物製造業	4月以降、不安定な受注状況が続いており、先の見通しも立たない。
	鍍金加工業	円高により、輸出関連企業を得意先とする組合員の売上が減少している。単価の値下げ要請と電気料金の値上げに加えて材料単価の高騰も懸念されており、対応に苦慮している。
	建築金物製造業	震災の復興需要の発生が予測されているものの、実際の受注量はさほど増加していない。



一般機械	農機具製造業	国内向けの生産は何とか維持しているものの、輸出向けの生産は非常に厳しい。また、業績に組合員間格差が現れている。
	遊技機製造業	売上が大きく好転した前年の6月と比較すると、今年度の売上は減少となっているが、依然として好調であることには変わりはない。
	木工機械製造業	依然として前年同月比での売上高は増加しているものの、前月に比べるとやや状況に陰りが見えている。
その他の製造	スポーツ用品製造業	テニス用品市場がラケットを中心に活気を取り戻している。ただし、テニス人口が増えているわけではなく、買い換え需要が増加したことが理由として考えられる。今後はテニス人口の増加策を講じるが必要となっている。
	工業塗装業	危惧していたとおり、受注量が減少している。ただし、幅広い需要に対応できる組合員は、受注量を確保している。
	貴金属製品製造業	材料である金や銀の地金価格が不安定となっており、在庫を持たない小規模組合員には厳しい状況となっている。
	ガス圧接業	稼働率が上昇しているため、労働力が不足することを懸念している。また、稼働率は上昇しているものの、単価に反映されるには、もう少し時間が必要となっている。
	ネームプレート製造業	前月と変わらず、景況感は悪化している。

非 製 造 業		
集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸 売	ニット製品卸売業	景況は1年前に比べて大幅に改善している。今夏もクールビズ戦略に沿って営業戦略を展開しており、売上は増加の見込みである。組合員も増加傾向にあり、組合も積極的に事業を実施していく予定である。
	青果卸売業	仕入高は前年同月比94.9%となった。
	眼鏡卸売業	消費税の増税法案が衆議院を通過した。国民の購買意欲を著しく低下させることを危惧するとともに、増税分の価格転嫁の問題も懸案事項となっている。
	食肉卸売業	売上高は増加しているが、収益状況の改善に繋がっていない。
	美容用品卸売業	新たな試みとしてスタートした共同購買事業が順調に推移している。
	医薬品卸売業	売上不振の状態が依然として続いている。
	紙卸売業	需給バランスが崩れているにもかかわらず、製紙メーカーの販売価格は値上げされたままである。一方で顧客である印刷・出版業界からの値下げ要請が続いている。
	玩具卸売業	業界最大の見本市である「東京おもちゃショー」では、女子小学生が大行列をつくるという過去にない結果となり、明るい話題で盛り上がった。
	木材卸売業	販売量、仕入量とも横這いの状況が続いている。国産原木価格の下落により、製品価格も低下している。
	電線卸売業	地域的には関東での売上が比較的順調なもの、その他の地域での売上は厳しい状態が続いている。また、太陽光発電システムや耐震補強工事用の電線に動きが見られるが、販売量そのものはさほど多くない。
	再生資源卸売業	再生資源の市況が低迷している。当面、回復しないと予想され、不安感が漂っている。
小 売	木材小売業	6月の後半より、見積もり依頼が増加している。
	鶏肉・鶏卵小売業	消費者の低価格指向により、販売価格は下降している。さらに業務用の販売価格も低迷している。在庫量が増加している他、収益状況も悪化している。
	化粧品小売業	前年度は約30名の組合員が廃業した。
	豆腐小売業	組合設立50周年を迎えるにあたり準備委員会を立ち上げ、記念行事の開催に向けて検討を重ねている。
	鮮魚小売業	仕入れコストが上昇しており、収益状況が悪化している。
	包装材料小売業	包装材メーカーから値上げ要請があるものの、海外製品も多い品については、実際の値上げには至っていない。一方でポリエチレン、ポリプロピレン等については小幅な値上げが実施された。



小 売	電器製品小売業	冷蔵庫は横這いの状況で、エアコンについては翌日据付をPRしているものの、動きは少ない。LED照明のPRが功を奏し、売上は伸びているが、太陽光発電については、費用が高額であることから、受注に結びついていない。
	眼鏡小売業	眼鏡フレームを替えることなく、レンズのみを取り替えるケースが増えている。
	中古自動車小売業	エコカー補助金の効果により新車販売は好調である一方、中古車販売は不調である。
	古書籍小売業	組合の事業実績は減少しており、脱退組合員数は増加している。
	衣料小売業	売上金額が前年比で大きく減少した。
	食器小売業	前年より売上は減少している。飲食店の売上減少に伴い食器の販売状況は最悪の状態に陥っている。
	酒小売業	極端な暑さとなると、ビール等の売上也鈍る結果となる。ほどよい気候が続くことを望んでいる。また、廉価な商品ばかりが売れているが、消費者も日本の酒文化を認識していただき、本物の商品への嗜好を高めていただきたい。
	文具小売業	大手通販業者の拡販攻勢により、組合員の得意先が奪われる事態となっている。価格競争では組合員に勝ち目は無い。
	食品小売業	前年と比較した売上高の減少は、前月より深刻な状況となっている。青果は仕入価格が下がったことで販売価格も安価となっているにもかかわらず、売上は伸びない。また、鮮魚関係は相変わらず消費者に敬遠されており、売上は最悪な状態が続いている。
	米穀小売業	米の販売価格は安定しているが、玄米の仕入価格は高値で推移している。先頃、政府所有の古米、4万トンが売却されたが、新米の収穫期が近づいており、米の販売価格にどのような影響を与えるか、業界では様子見の状況となっている。
	各種商品小売業	組合員の売上高は好転の兆しを見せているが、完全な回復には至っていない。組合のカード事業の売上高は前年とほぼ変わらなかった。
青果小売業	単独の青果市場での取引だけでは商品が揃わないため、複数の青果市場に参加する組合員が増えている。 組合員は季節商品であるサクラランボの販売に力を入れている。	
商店街	銀座	梅雨に入っても人出は変わらず、まずまずの賑わいを見せている。ファストファッションの店舗も盛況である。
	赤坂	ボーナス時期には人通りも増え、夜の街も賑わったが、一週間と続かなかった。消費税の増税が消費動向にどのような影響をもたらすかを危惧している。
	秋葉原	節電志向から扇風機の売上が好調で、高級品を中心に売上を伸ばしている。また、消費電力の少ない上位機種のエアコンも関心が高い。テレビについてはロンドンオリンピックの開催が迫っていることから売上増を期待しているが、実際の動きは今ひとつである。
	目黒	売上高は前年の実績を維持しているが、決して好調ではない。
サービス	複写業	昨年の震災以降の状況と比較すれば、需要は増加しており、資金繰りや収益状況も改善している。最近の受注業務の傾向は、青焼きやコピー製本の仕事量が減少傾向にある一方で、オンデマンド印刷やデータの入出力業務が増加している。ただし、異業種の参入もある中で、価格の下落が激しく、収益率は低下している。
	廃棄物処理業	廃棄物の排出量が減少している。排出事業者からの処理費用の値下げ要求もあり、収益状況も悪化している。
	公衆浴場業	耐震化工事とクリーンエネルギー化に対する東京都からの補助は、平成24年度で終了予定となっている。
	自動車整備業	自動車販売は増加しているが、自動車整備の売上増加には繋がらず、横這いの状態となっている。
	クリーニング業	梅雨入りと時を同じくして、春の繁忙期が終了した。今年の売上高は平年の水準に戻ったとの声もあるが、全体としてはやや減少傾向にある。
運 輸	貨物自動車運送業	売上高は前年と比較して微減となっている。また、荷主が一定の輸送力を持たない小規模運送事業者を排除する事例が発生している。 夏場が近づく中で、飲料関係の輸送を行う組合員の受注量は増加している。
	港湾運送業	昨年度の貨物取扱量は大幅に増加したが、本年度も堅調に実績を積み上げている。
建 設	内装工事業	脱退組合員が続出している。賦課金の請求が脱退のきっかけになっている模様である。

# ✓ 行政庁・中央会に対する主な要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主な要望事項
繊維・同製品	ネクタイ製造業	背広にワイシャツだけの軽装は見苦しく見える一方、半袖ワイシャツにネクタイを締めるスタイルの方が清潔に見えるのではないかと。行政も行き過ぎたクールビズの流れを見直していただきたい。
	帆布製品製造業	現在の景況下で消費税の増税を実施することは反対である。増税の実施時期を遅らせる方策を検討していただきたい。
鉄鋼・金属	金属熱処理業	東京電力の電気料金値上げに対応した支援措置を講じていただきたい。さらには円高対策の実施もお願いしたい。
	建築金物製造業	消費税の増税には反対する。デフレを脱却する施策を講じていただきたい。
化学ゴム	ゴム製品製造業	内需拡大のための施策を実施していただきたい。
卸 売	機械・工具卸売業	円高是正策を強力に推進していただきたい。
小 売	青果小売業	福島県産の農産物は依然として消費者に受け入れられていない。行政は消費者の不安の払拭に努力していただきたい。
	化粧品小売業	消費税が大幅にアップした場合、経営に重大な影響をもたらすというのが、組合員全体の意見である。増税については再考願いたい。
	自動二輪車小売業	日本自動車工業会、NMCA日本二輪車協会とともに、都議会民主党議員団と都内の二輪車駐輪場問題について意見交換を行った。全国平均と比較して、都内における二輪車の駐車違反件数は大幅に増加しているが、駐輪スペースが無いことが原因である。自転車駐輪場への自動二輪車の受入等、すぐにでも実施可能な対策を講じてほしい旨を議員団に要望した。
	電器製品小売業	東日本大震災と原発事故の発生以降、国の経済対策が全く講じられていないと感じる。景気浮揚策を講じていただきたい。
	豆腐小売業	景気対策を第一に実施していただきたい。
	理容用品小売業	東京都には組合に対する様々な支援措置があり、当組合でも展示会を開催する際の助成事業の利用を検討しているが、申請手続の簡素化を是非お願いしたい。
	青果小売業	東京電力の電気料金値上げに対しては業界として反対する。韓国との電気料金の格差を疑問に思う。
サービス	複写業	中小企業の活性化のため一層の支援をお願いしたい。
	廃棄物処理業	間違いのない廃棄物処理を行う為にも、処理価格の適正化を進めていただきたい。
運 輸	貨物自動車運送業	バラマキ的な経済政策でなく、日本経済の活性化につながるともに、やる気のある事業者へのインセンティブとなる施策を実施していただきたい。